

5部

オンデマンド・
スクーリングのご案内



在宅で受講可能な「オンデマンド・スクーリング」を下記の科目について、実施いたします。※同一期に複数科目の申込みができます。

●今回申込みを募る科目＝オンデマンド・スクーリング 1～3期

期	(注1)			科目名	申込締切	受講開始	受講料 納入締切	スクーリング 試験締切 (正午) (注2)	S単位	受講料
	～ 20	21 ～ 23	24 ～							
1		★	■	保健医療サービス論	4/3	4/14	4/24	5/6	1	5,000円
				心理系 心理アセスメント					1	5,000円
				心理系 統計情報を見る眼					1	5,000円
		★	■	医学一般				5/13	1	5,000円
		★	■	社会福祉援助技術総論					2	10,000円
	◆	★	■	地域福祉論					2	10,000円
2				心理系 老年心理学	4/17	4/28	5/8	5/27	2	10,000円
			■	精神保健福祉の制度					1	5,000円
	◆	★		精神保健福祉論Ⅲ(旧カリ)				6/3	2	10,000円
	◆	★	■	社会保障論					1	5,000円
	◆	★	■	福祉心理学						
3	共通基礎			ボランティア論	5/1	5/12	5/22	6/10	1	5,000円
		★	■	社会福祉援助技術論A					1	5,000円
			■	精神保健福祉のサービス					1	5,000円
	◆	★		精神保健福祉論Ⅱ(旧カリ)				6/24	2	10,000円
		★	■	社会福祉援助技術総論					2	10,000円
				心理系 認知心理学						

(注1) ◆＝平成14～20年度入学者 ★＝平成21～23年度入学者

■＝平成24年度以降入学者向け科目

(注2) スクーリング試験受理連絡は、スクーリング試験をご提出いただいたメールアドレスに返信いたします。

※ 受講期間中はこまめにメールをチェックしてください(必要事項はメールでご連絡します)。

※ 申込締切日以降に受付手続きを行います。受講申込者は下記のことを確認ください。

【重要】

オンデマンド・スクーリングでは、申込みからスクーリング試験提出まで、パソコンを使用して行っていただきます。

申込み・受講・単位修得方法や「TFU オンデマンド」使用方法是『学習の手引き2012-2016版』10章に記載がございます（2011年度以前入学者はホームページまたはmBookより参照してください）。必ずご理解いただいた上で受講申込みを行ってください。

送付・連絡物	通知方法	留意点
受講料納入依頼書	郵送	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
試験要領	「TFU オンデマンド」上から自身でダウンロード (受講開始日以降可能)	郵送はいたしません。受講科目のコンテンツ内より自身でダウンロードし、必ず内容（スクーリング試験課題や留意事項等）を確認してから受講してください。
講義資料 (資料のある科目のみ)	郵送（一部科目は自身でダウンロード）	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
視聴開始連絡	「TFU オンデマンド」上の「お知らせ」および一括送信メール	受講開始日までに届くことをご確認ください（メールが届いていない方はご自身の受信設定をご確認ください）。

スクーリング・アンケートより(2)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●障害者福祉論 横山英史先生 2016. 2. 11～13 仙台

- ・DVD視聴もあり、日常生活では気づかずに生活しているが、障害者にとっての不自由な面に気づかされました。みんなが暮らしやすい社会にできたらと考えさせられました。
- ・教科書の制度や歴史のみではなく、障がい当事者目線の具体的話や、参考文献の活用が様々あり、たくさん気づきがありよかった。バリアフリーに関する問題提起の写真事例は考えさせられた。
- ・先生が考え方のヒントを投げかけてくださり、問題意識を持ちやすかった。また、どういった背景があり、現状に至っているのかの説明も細かくしていただいたので納得しやすかった。要点が絞られていて整理しやすかった。
- ・受講前に自分なりに予習して臨んだが、受講して改めて自分はまだまだだと感じた。他の福祉政策との関連付けなど、自分の知識の再構築を図らないとなかなか先に進めないと思った。今後はボランティア等を通じて学んだ知識をもっと高めていきたい。

●児童(・家庭)福祉論 千葉喜久也先生 2016. 1. 9～11 東京

- ・子供の成長課程において、親の関わりや周囲の大人の関わりが大事であり、関わりによって子どもの感性なども変わってくるものだと考えさせられました。先生は子どもだけでなく、折に触れて高齢者に対する対応等も話していただけて、とても参考になりました。
- ・虐待に関するDVDは衝撃的でしたが、現実を知ることができるよい機会でした。見たくない、知りたくない事柄から逃げている自覚が生まれ、社会福祉を学ぶ姿勢を考え直すきっかけとなりました。

●児童(・家庭)福祉論 渡邊憲介先生 2016. 1. 9～11 札幌

- ・老人福祉の知識や経験しかなく、先生の講義は分かりやすく実際に経験された事やエピソードなどの話を盛り込んだ内容で、それが教科書に沿った内容だったのでより分かりやすかったです。
- ・児童施設での経験談、事例を交えた講義内容でした。児童虐待、施設内虐待、職員の資質についてなど、現状をふまえた課題を考えさせられました。専門職としての知識、技術の修得は常に必要だということも改めて感じた。